

FUJITSU Work Life Shift

2021年 3月15日

資料4

FUJITSU
shaping tomorrow with you

新たなイノベーションを生み出す組織へ 現場の声を反映した制度・組織変革

富士通株式会社

総務・人事本部 人事戦略室長

森川 学

Work Life Shift

リアルとヴァーチャルの双方で常につながっている多様な人材が、イノベーションを創出し続ける状態をつくる

ニューノーマルな世界において、「働く」ということだけではなく、「仕事」と「生活」をトータルにシフトし、Well-Beingを実現する

- ・ 固定的な場所や時間にとらわれない
- ・ 社員の高い自律性と信頼をベース

Work Life Shiftの「3本柱」

FUJITSU

Smart Working
最適な働き方の実現

Borderless Office
オフィスのあり方の見直し

Culture Change
社内カルチャーの変革

Smart Working

仕事内容 / 目的 / ライフスタイルに応じた「最適な働き方」を自律的に使い分け

Smart Working

「時間」や「場所」をフレキシブルに活用



時間



場所

**固定的なオフィスに全員出勤することを前提とした、
勤務制度、手当、福利厚生、IT環境を全面的に見直し**

*事業所での業務を余儀なくされるケースは除く。

コアタイムの撤廃

2020年7月21日付

- ・ 全社員、「コアタイムのないフレックス勤務」を原則とする。（Web-OTRで打刻）

通勤定期券の廃止

2020年7月21日付

- ・ 業務都合による移動は、実費精算。近隣事業所への通勤は自転車通勤を推奨。

単身赴任の解消

2020年7月21日以降、随時実施

- ・ 単身赴任者でテレワークと出張で対応可能な場合は、随時自宅勤務に切り替え

環境整備サポート

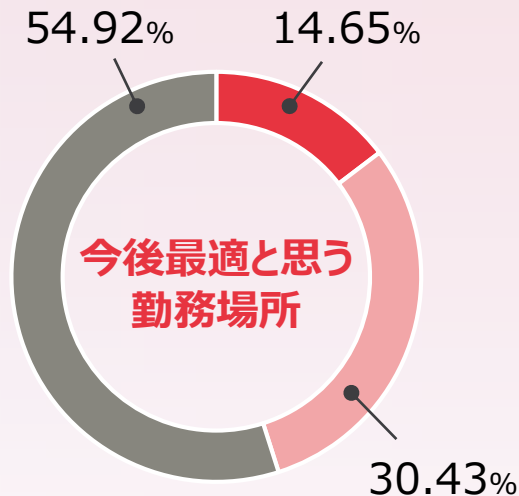
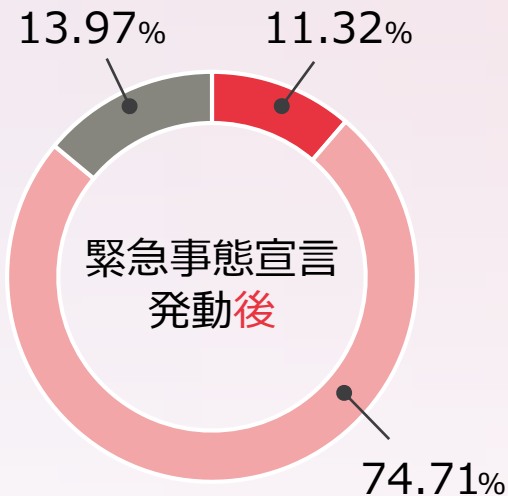
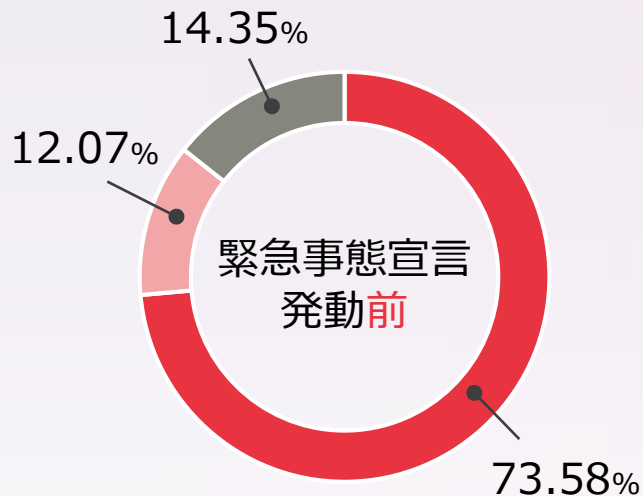
2020年7月給与より

- ・ 通信料、光熱費、デスクやイス等のテレワーク環境整備費用補助として、一人あたり月額5千円を支給する。（名称：スマートワーキング手当）

富士通におけるサーベイ結果



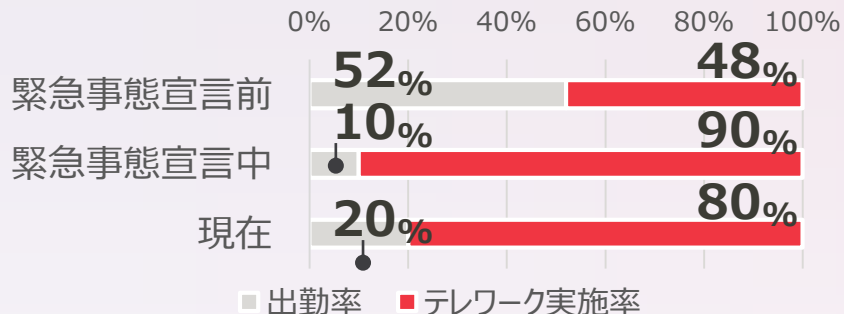
調査期間：
2020年5月29日～6月17日



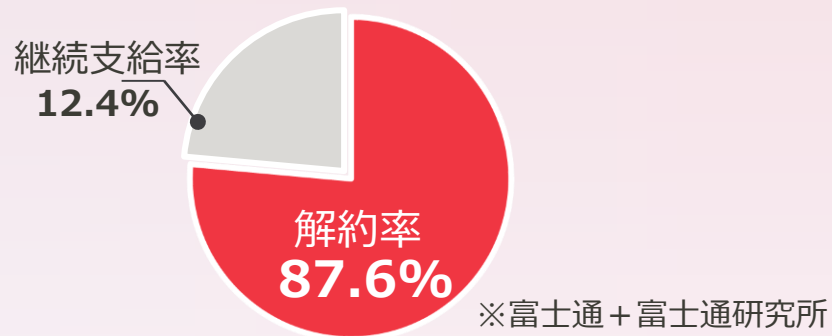
今後最適と思う勤務場所は、事務所・工場・顧客常駐先が15%、自宅・サテライトが30%、左記両方が55%と、働く場所の選択を望む社員が多いことが分かる

通勤関連（出勤率/通勤定期券利用）単身赴任解消状況 FUJITSU

出勤率（テレワーク実施率）



通勤定期券利用者



単身赴任解消者数

富士通+グループ会社 対象者：約4,000名

	解消済み+トライアル中
富士通	25%
グループ各社	8%

出張旅費（金額）前年同期比

	2020年4月～9月
海外出張	前年比 1.7%
国内出張	前年比 30.2%

Culture Change

わたしたち自身が新たな企業文化を創る

Culture Change

社員の高い自律性 × ピープルマネジメント改革



Management Support

セルフサービス化
就業状況の可視化

Trustに基づく制度・プロセス



Communication
1on1 Meeting
Communication
支援

役割・期待の共有
より適切な評価



Health

健康パルスチェック
ストレス診断

心身の健康面へのサポート

Management Support



Zinrai for 365 Dashboard

リモートワーク 実施上の課題

サービス残業
増加の抑止

自己申告との
差異の把握



長時間労働
常態化の防止

作業進捗の
把握



仕事負担
状況の可視化

オフィスワーク
との差異の把握



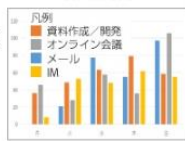
業務効率化に向けた現状把握

作業予定／実績

作業内容



検証



他システムのデータ

作業予定とその実績を確認し
作業遅延要因の検証に活用

業務の平準化に向けた分析



個人ごとの残業時間から
仕事の負荷状況を把握

リモートワーク実施状況分析

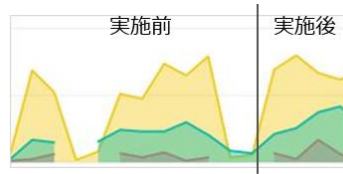
テレワーク

オフィスワーク



オフィスワークとの差異からテレワーク実施の
妨げとなっている要因の洗い出しに活用

施策の効果検証

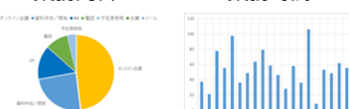


生産性向上の取り組み効果を
定量的な働き方の可視化データを基に検証

理想の働き方との比較

業務内容

業務時間



自身のデータと比較

理想の働き方となるコア業務の比率を設定し
自身と比較することで自律的な変革を促す

個人の成長支援と エンゲージメント向上



1 on 1 Meetingで定量的な働き方の可視化
データを活用し、コミュニケーションの円滑化を図る

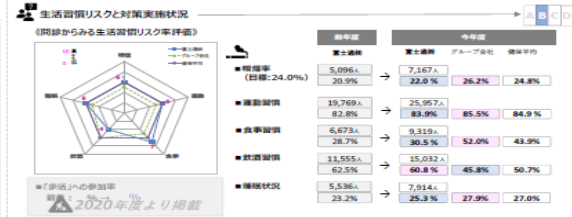
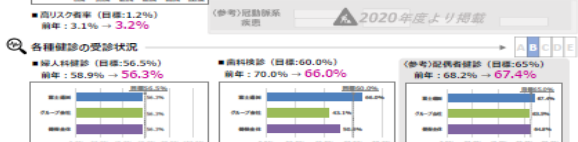
※お客様の生産性向上と多様な働き方の実現に向けて、AIを活用した業務内容の可視化を実現する富士通のサービス。

健康通信簿



Health
健康ハルスチェック
ストレス診断

富士通株式会社
健康通信簿
作成日: 2019年9月1日
発行元: 富士通健康保険組合



2021 健康経営銘柄

Health and Productivity

グローバルレスポンスビジネス

- 人権・多様性
- ウェルビーイング
- 環境
- コンプライアンス
- サプライチェーン
- 安全衛生
- コミュニティ

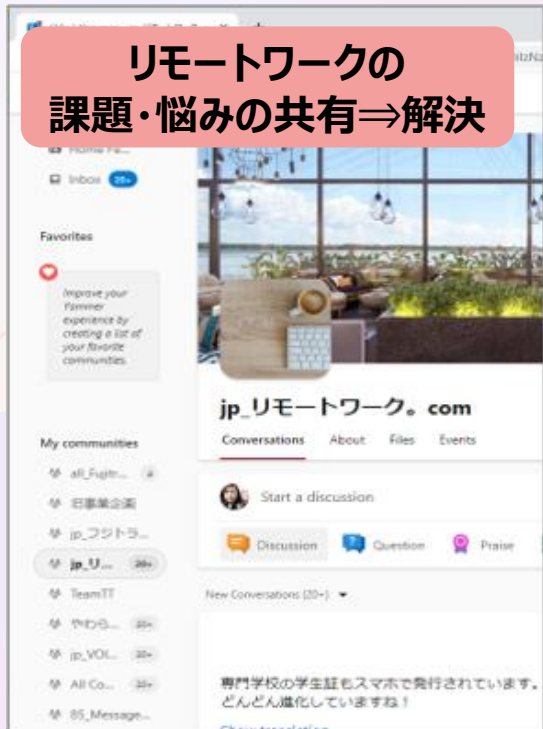
各組織の健康診断結果、健康保険レセプトデータ、ストレスチェック結果等をスコア化し、組織長に提供。人事、医療スタッフ、職場が一体となって組織開発の観点から健康増進についての議論を実施。

Communication



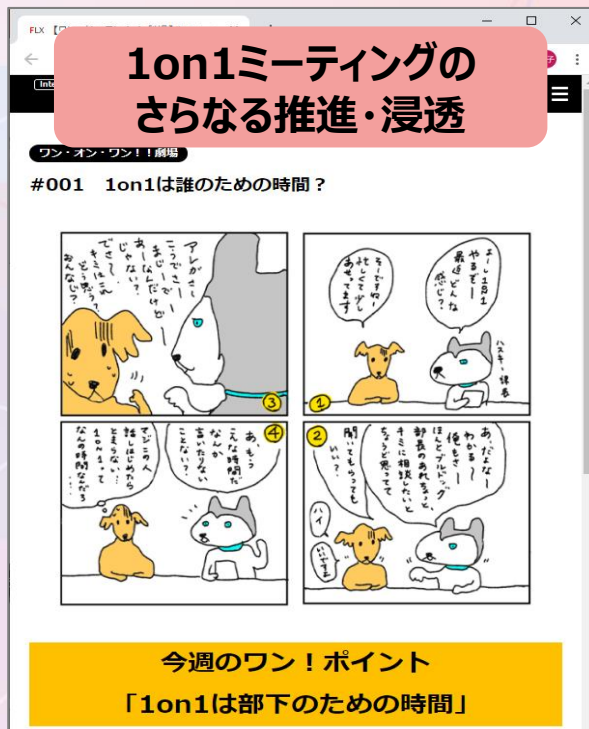
社内のコミュニケーションのさらなる活性化

リモートワークの
課題・悩みの共有⇒解決



リモートワーク.com

1on1ミーティングの
さらなる推進・浸透



ワン・オン・ワン!! 劇場

俯瞰して改善活動を
サポートするスタッフの配置



職場づくり支援スタッフ

Communication



社内コミュニケーション基盤の強化

Teams

決まったメンバーと物事をどんどん進める
「チーム・ワークの場」

文体気にせず「立ち話」感覚で会話を応酬

コラボレーション重視

Yammer

不特定多数の社員がゆるやかにつながる
「コミュニティの場」

発信・募集・問合せなど、ゆるやかな情報をお互い交換

一方的な発信重視

メール

形式を守ってしっかり進める
「フォーマルの場」

機微・証跡が必要な要件を
かっちりとした文書でやり取り

転居に伴う諸手続のお願い
XXさん、お疲れ様です。
お引越しに伴う諸手続をご連絡します。期日までにご対応くださいますようお願い致します。

1. 人事部への届け出
2. 経理部への届け出
3. 通勤定期券の取扱い

SharePoint

成果物を汎用資料として共有
「知の共有の場」

ストックされた情報で他者知見を活用する

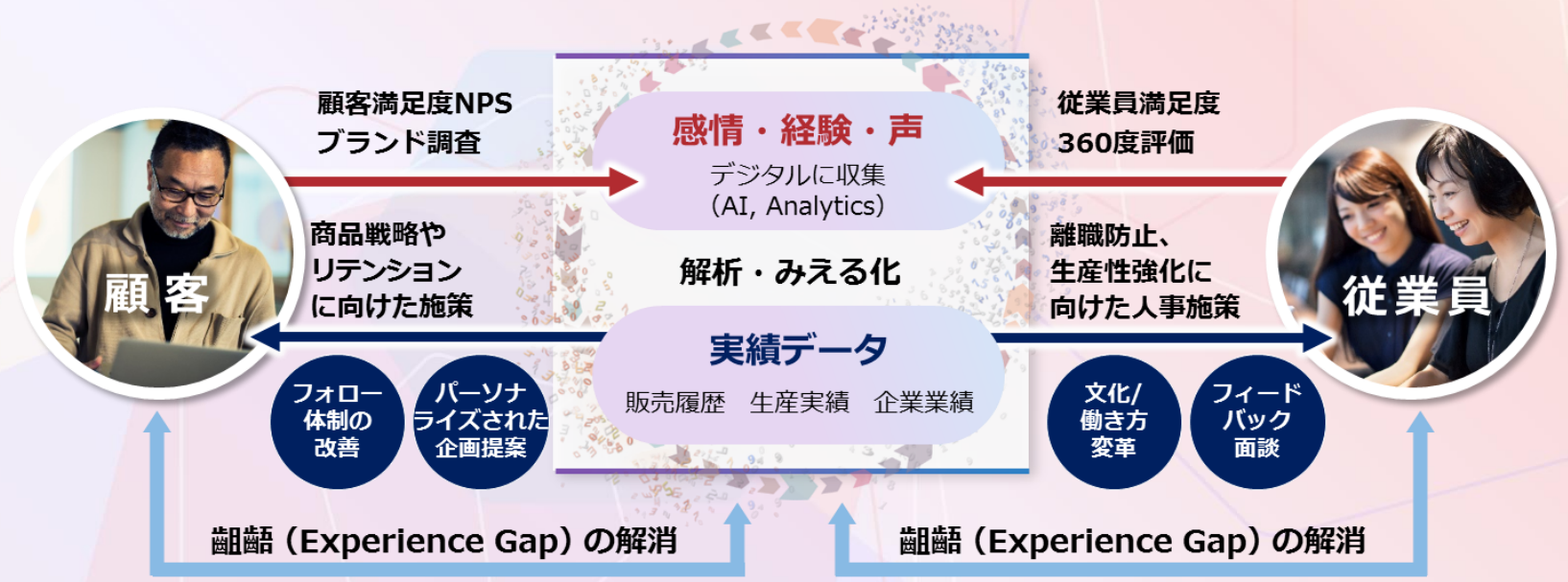
一方的な発信重視

出典：Microsoft社資料

Communication



顧客・従業員の声 VOICEプログラム



顧客・従業員の声と業務データを意図的に組み合わせる事で、「何故その事象が起きたのか（背景・理由）」を正しく理解し、自社の課題やその要因の判断、変化の予測を常に行い、正しい行動につなげる。

重視したポイント

トップの強い
コミットメント

総務・人事・IT部門
三位一体の取組み

労働組合との協力

社員からの声
クイックサーベイ



社員の不安解消
エンゲージメント向上



クイックに
打ち手を実行
(情報発信)



対外的な発信



弊社HPに「Work Life Shift」に関するプレスリリースを掲載

[2020年7月6日プレスリリース]

[2020年10月9日プレスリリース]

FUJITSU

FUJITSU

English

English

PRESS RELEASE (経営)

PRESS RELEASE

2020年7月6日
富士通株式会社

2020年10月9日
富士通株式会社

ニューノーマルにおける新たな働き方「Work Life Shift」を推進

人事制度やオフィス環境を刷新し、生産性やイノベーション力の向上を実現

働き方改革における実践知とテクノロジーを融合させたソリューション 「FUJITSU Work Life Shift」を提供開始

ニューノーマルな社会の持続可能で多様な働き方を支援

当社は、新型コロナウイルスの感染拡大によって生じたニューノーマル(新常态)において、DX(デジタルトランスフォーメーション)企業への変革をさらに加速し、従業員がこれまで以上に高い生産性を発揮し、イノベーションを創出し続けられる新しい働き方として「Work Life Shift」を推進します。

「Work Life Shift」は、「働く」ということだけでなく、「仕事」と「生活」をトータルにシフトし、Well-beingを実現するコンセプトです。このコンセプトのもと、固定的なオフィスに出勤する従来の通勤の概念を変え、多様な人材が高い自律性と相互の信頼に基づき、場所や時間にとらわれないこととお客様への提供価値の創造と自らの変革に継続的に取り組むことができる働き方を実現するため、人事制度とオフィス環境整備の両面から様々な施策を推進します。オフィス環境面では、従業員がそれぞれの業務目的に最も適した場所から自由に選択できるようにするとともに、全席をフリーアドレス化することにより、2022年度末までにオフィスの規模を現状の50%程度に最適化(注1)、快適で創造性のあるオフィス環境を構築します。

当社は今後も、「バーバース」(注2)の実現に向けた最適な働き方を追求していくとともに、社内実践した新たな働き方をお客様

当社は、グローバル拠点を含む全社員約13万人の働き方改革の実践知とテクノロジーを融合させたソリューション群を「FUJITSU Work Life Shift」として、グローバルに10月9日より提供開始します。

「FUJITSU Work Life Shift」は、自社実践をもとに、ニューノーマルにおける新たな働き方を実現する17種のソリューションを体系化したものです。「Smart Working」、「Borderless Office」、「Culture Change」の3つのカテゴリーで、自社実践を通して得られたノウハウやテクノロジーに加え、すでにお客様へ提供しているものも含め59種のサービス・製品を、お客様ごとに最適に組み合わせ提供します。その中で、テレワークにより離れた人同士が、会議室などでの作業を同じ仮想空間で実施できる「FUJITSU Collaboration Space」を11月30日より新たにサービス提供を開始します。

今後も、当社はグローバル視点で働き方改革を加速させ、実践知を積み上げていくとともに、新たなテクノロジーを開発・実装し、さらなるソリューションの拡充を図りながら、医療や建設現場などの業務を支えるサービスも順次提供し、ニューノーマルな社

プレスリリース以降、大変多くのお客様からののお問合せ、各種メディア取材の依頼をいただいております。

テレワークへの関心喚起や、お客様の働き方改革にも寄与している。

対外的な発信

(令和2年度) テレワーク先駆者百選で「総務大臣賞」を受賞

■ 弊社プレスリリースに掲載



■ 授賞式当日の様子



サステナビリティ 経営への取り組み

富士通のサステナブルな成長

パーパスに基づく経営

財務指標

成長

収益性・資本効率

非財務指標

社会・お客様

従業員・組織・カルチャー



GRB(Global Responsible Business)7課題

長期的で
安定した貢献

世界をより
持続可能に

成長機会
の創出

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

投資家視点でのテレワークの価値

テレワークの実施／定着

オンライン環境下でも
上司部下の率直な意見交換
ができる環境づくり

- ✓ ワークライフバランスの向上
- ✓ 育児・介護中の就業が可能
- ✓ 通勤時間の削減
- ✓ 多様な働き方の実現

イノベーション創出
組織パフォーマンス向上

心理的安全性の向上

Reputation向上／優秀人材の獲得

エンゲージメント／モチベーション
／主観的well-beingの向上

人への投資
(就業環境、教育投資など)

顧客満足度／生産性／利益率
組織のパフォーマンス向上

「Work Life Shift」に関するアンケート結果（総括） FUJITSU

■ ニューノーマルにおける新たな働き方への変革 「Work Life Shift」発表内容

・ いいと思う/ある程度いいと思う（肯定回答） 90%

■ 新型コロナウイルス感染拡大前と比較し、

・ 働き方と生活のスタイル双方に変化があった 93%

・ 仕事と生活のバランスが良くなった 61%

■ 自宅/サテライトオフィスで勤務者のうち、感染拡大前と比較し、

・ 生産性が上がった 31%（前回調査:25%）

・ 生産性が下がった 25%（前回:35%）

・ 生産性を維持、または向上した **75%（前回:65%）**

■ 感染拡大前と比較し、生産性向上に関して良くなった点が多かった回答

「勤務場所・通勤」 「勤務形態・制度」 「テレワーク環境補助・金銭補助」

「Work Life Shift」に関するアンケート結果（総括）

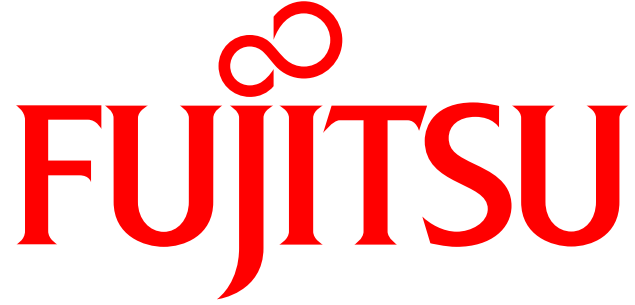
■ 更に生産性を上げるために必要な解決・支援について

（多い順）

- ・ 「ネットワーク環境（レスポンス・接続性・VPN他）」
- ・ 「コミュニケーション」
- ・ 「テレワーク環境補助・金銭補助」

（テキスト分析結果） コミュニケーションに関連した改善を望む内容が多い

- ・ 「コミュニケーションツールを改善・拡充してほしい」
※ビデオオンでの会議/ネットワーク・音声品質の改善/ツールの拡充
- ・ 「ちょっとした雑談や気軽なコミュニケーションをとりたい」
※新たなアイディアの創出
- ・ 「チーム内で定期的にFace to Faceでのコミュニケーションの場がほしい」



shaping tomorrow with you